

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公表番号】特表2017-538779(P2017-538779A)

【公表日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-538458(P2017-538458)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 M 15/08 (2006.01)

A 6 1 M 15/00 (2006.01)

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 39/155 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 31/135 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/46 (2006.01)

C 0 7 K 16/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 38/16 Z N A

A 6 1 M 15/08

A 6 1 M 15/00 Z

A 6 1 M 16/06 A

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 39/155

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/167

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 31/44

A 6 1 K 31/46

C 0 7 K 16/10

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

$5 \times 10^{-10} \text{M}$ 又はそれ未満の K_D でhRSVのF-タンパク質に結合し、90ng/mL又はそれ未満の IC_{90} でhRSVを中和し、3つの抗hRSV免疫グロブリン単一可変ドメインを含むか、それから本質的になるか、又はそれからなるポリペプチドを含む、若年の子供におけるRSV感染の治療に使用するための組成物であって、前記ポリペプチドが1日当たり0.020~0.040mg/kgの沈着用量でRSV感染に罹っている子供に吸入投与される、組成物。

【請求項 2】

タンパク質の吸入用量が、1日当たり0.20~0.40mg/kgである、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

タンパク質の名目用量が、1日当たり1.00~2.00mg/kgである、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項 4】

ポリペプチドが2~5日間連続して毎日投与される、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

若年の子供が月齢24カ月未満である、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

抗RSV免疫グロブリン単一可変ドメインが、配列番号46のアミノ酸配列を有するCDR1、配列番号49~50のうち1つのアミノ酸配列を有するCDR2、及び配列番号61のアミノ酸配列を有するCDR3を含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

ポリペプチドが配列番号71である、請求項6に記載の組成物。

【請求項 8】

ポリペプチドが単剤治療として投与される、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

気管支拡張剤によって少なくとも1つの更なる治療剤が投与される、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

50mg/mLのポリペプチドの組成物0.100~0.500mLを含むネブライザーであって、該ポリペプチドは、 $5 \times 10^{-10} \text{M}$ 又はそれ未満の K_D でhRSVのF-タンパク質に結合し、90ng/mL又はそれ未満の IC_{90} でhRSVを中和し、3つの抗hRSV免疫グロブリン単一可変ドメインを含むか、それから本質的になるか、又はそれからなる、ネブライザー。

【請求項 11】

少なくとも1つの抗RSV免疫グロブリン単一可変ドメインが、配列番号46のアミノ酸配列を有するCDR1、配列番号49~50のうち1つのアミノ酸配列を有するCDR2、及び配列番号61のアミノ酸配列を有するCDR3を含む、請求項10に記載のネブライザー。

【請求項 12】

ポリペプチドが配列番号71である、請求項11に記載のネブライザー。

【請求項 13】

振動メッシュ式ネブライザーである、請求項10から12のいずれか一項に記載のネブライザー。

【請求項 14】

空気又は酸素の固定流を有する、請求項10から13のいずれか一項に記載のネブライザー。

【請求項 15】

月齢24カ月未満の若年の子供におけるRSV感染の治療に使用するための、請求項10から14のいずれか一項に記載のネブライザー。

【請求項16】

ポリペプチドが単剤治療として投与される、請求項10から15のいずれか一項に記載のネブライザー。

【請求項17】

気管支拡張剤によって少なくとも1つの更なる治療剤が投与される、請求項10から15のいずれか一項に記載のネブライザー。

【請求項18】

(a) 振動メッシュを有するエアロゾル発生器；

(b) 振動メッシュと流体連通している、噴霧される液体のためのリザーバー；

(c) ガス吸気口；

(d)

- ケーシングと、

- エアロゾル吸気口と、

- 患者の接触表面と、

- 0.5~5mbarの範囲から選択される呼気抵抗を有する、ケーシング中の一方向の呼気バルブ又は二方向の吸気/呼気バルブと

を有するフェイスマスク；及び

(e) ガス吸気口からフェイスマスクのエアロゾル吸気口に伸びるフローチャンネルであって、

- エアロゾル発生器がそれを通してフローチャンネル中に少なくとも部分的に挿入されている、側方開口部と、

- ガス吸気口とフェイスマスクのエアロゾル吸気口の間で流速1~20L/分で一定の流れ抵抗と

を有する、フローチャンネル

を備える、請求項10から17のいずれか一項に記載のネブライザー。